



「恋人の聖地」八島ヶ原湿原

ハート形の 記念碑完成

4月に「恋人の聖地」に認定された霧ヶ峰高原の八島ヶ原湿原（標高約1600㍍、諏訪市・下諏訪町）に20日、聖地の銘板を取り付けたハート形のモニュメントが完成した一写真。聖地に申請した下諏訪町が同町側の園地に設けた。関係者は「多くの人を訪れ、カップルが生まれてほしい」と願っている。

モニュメントは「幸運を呼ぶ」という四つ葉のクローバーを模した台座の上に置かれた黒御影石製で、幅約1.3㍍、奥行き・高さ約1㍍。銘板がある表面はハート形の湿原の形に仕上げた。製作費は約180万円。

除幕式で青木悟町長は「生まれたカップルはぜひ、諏訪大社で結婚式を」。町出合い・婚活プロジェクト委員長を務める森田政彦さん(55)も「たくさんの恋人たちがここで写真を撮り、散策してほしい」と望んだ。

認定したNPO法人地域活性化支援センター（静岡市）は、ハートに似た湿原の形や、町の婚活事業を評価した。【武田博仁】